

平成 28 年度(2016 年度)大阪府豊能地区公立小・中学校教員採用選考テスト
第 1 次選考筆答テスト問題集 (択一式)

受 験 中 の 心 得

- 1 試験時間中は、すべて係員の指示に従ってください。
お互いに話をしたり、席を立ったり、そのほか人の迷惑になるようなことをしないでください。
- 2 解答用紙が配付されたら、まず名前を記入し、受験番号を右の記入例に従って、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
- 3 答えは解答用紙に記入してください。
- 4 問題はいずれも五つの答えがでていますが、そのうち最も適切と思われる答えを一つ選んで、問題で指示された解答番号と同じ番号の右にある五つの数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。間違えてぬりつぶしたときは、消しゴムでよく消してください。

受験番号記入例

受 験 番 号					
1	2	3	4	5	6
0	0	0	0	0	0
●	1	1	1	1	1
2	●	2	2	2	2
3	3	●	3	3	3
4	4	4	●	4	4
5	5	5	5	●	5
6	6	6	6	6	●
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

〔解答例〕 日本の首都はどこか。1～5 から一つ選べ。解答番号は 。

1 京都 2 奈良 3 東京 4 名古屋 5 大阪

解答欄記入例

4	1	2	●	4	5
---	---	---	---	---	---

この場合、最も適切と思われる答えが「3 東京」であれば、解答用紙の 4 の右に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶせばよいのです。

- 5 解答番号は、1 番から 5 0 番まであります。
- 6 試験時間は 9 0 分です。
- 7 試験開始から試験終了まで、退室できません。
- 8 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 9 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の各文は、教育基本法の条文である。各問いに答えよ。

第一条 教育は、 を目指し、 な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

第十四条 良識ある として必要な政治的教養は、教育上尊重されなければならない。

2 法律に定める は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。

問1 空欄Aに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 生きる力の育成
- 2 人格の完成
- 3 学力の向上
- 4 真理の追究
- 5 文化の創造

問2 空欄Bに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 健康で文化的
- 2 自由で幸福
- 3 崇高で平等
- 4 安全で健康的
- 5 平和で民主的

問3 空欄Cに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 人間
- 2 個人
- 3 公民
- 4 成人
- 5 国民

問4 空欄Dに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 教員
- 2 教育公務員
- 3 教育機関
- 4 学校
- 5 地方公共団体

2 次の各文のうち、学校教育法の条文でないものはどれか、1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 学校には、校長及び相当数の教員を置かなければならない。
- 2 中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
- 3 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の校長、園長、教員、事務職員、技術職員その他の職員は、この法律に特別の定めがある場合を除き、教育委員会が任命する。
- 4 学齢児童又は学齢生徒を使用する者は、その使用によつて、当該学齢児童又は学齢生徒が、義務教育を受けることを妨げてはならない。
- 5 高等学校の修業年限は、全日制の課程については、三年とし、定時制の課程及び通信制の課程については、三年以上とする。

3 次の各文のうち、中学校学習指導要領（平成20年3月告示）「総則」の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行うこと。
- B 各教科等の指導に当たっては、学習内容を確実に身に付けることに重点を置き、生徒が自らの将来について考えたりする機会については、課外活動の時間において行うようにすること。
- C 生徒が学校や学級での生活によりよく適応するとともに、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、ガイダンスの機能の充実を図ること。
- D 生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、総合的な学習の時間及び特別活動の時間に限って、計画的、組織的な進路指導を行い、キャリア教育を推進すること。

	A	B	C	D
1	○	×	○	○
2	×	×	○	×
3	×	○	×	○
4	○	×	○	×
5	○	○	○	×

4 次は、「教育振興基本計画」（平成25年6月14日 閣議決定）からの出題である。各問いに答えよ。

問1 この計画の「第2部 今後5年間に実施すべき教育上の方策」の「I 四つの基本的方向性に基づく方策」の「1. 社会を生き抜く力の養成（1）主として初等中等教育段階の児童生徒等を対象にした取組」においては、成果目標として、「生きる力」の確実な育成が挙げられている。次のうち、ここにおいて「生きる力」として「確かな学力」、「豊かな心」以外に記されているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

7

- 1 爽やかな態度
- 2 幅広い教養
- 3 魅力ある個性
- 4 健やかな体
- 5 健全な精神

問2 次の文は、この計画の中の「基本施策1 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」に関する記述の一部である。空欄A、B、Cに当てはまる語句はそれぞれどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は空欄A 、空欄B 、空欄C

子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等、に学習に取り組む態度などの確かな学力を身に付けさせるため、教育内容・方法の一層の充実を図る。その際、特に、自ら課題を発見し解決する力、他者とするためのコミュニケーション能力、物事を多様な観点からに考察する力などの育成を重視する。

空欄Aの語群（解答番号 ）

- 1 主体的
- 2 網羅的
- 3 総合的
- 4 系統的
- 5 多角的

空欄Bの語群（解答番号 ）

- 1 調和
- 2 調整
- 3 発展
- 4 連携
- 5 協働

空欄Cの語群（解答番号 ）

- 1 帰納的
- 2 客観的
- 3 論理的
- 4 全体的
- 5 効果的

5 次は、中学校学習指導要領（平成20年3月告示）「特別活動」からの出題である。各問いに答えよ。

問1 各活動・学校行事の目標及び内容に記されている生徒会活動の内容として誤っているものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 生徒の諸活動についての連絡調整
- 2 ボランティア活動などの社会参加
- 3 学校施設・設備の管理
- 4 異年齢集団による交流
- 5 学校行事への協力

問2 次の文は、指導計画の作成と内容の取扱いの一部である。空欄A～Cに、下のア～クのいずれかの語句

を入れてこの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

特別活動の全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画の作成に当たっては、学校の を生かすとともに、学校の実態や生徒の などを考慮し、生徒による な活動が助長されるようにすること。また、各教科、道徳及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図るとともに、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫すること。

ア 創意工夫	イ 自由	ウ 長所	エ 自主的、実践的
オ 特色	カ 自治的、主体的	キ 興味・関心	ク 発達の段階

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | イ |
| 2 | ア | ク | エ |
| 3 | ア | キ | カ |
| 4 | オ | キ | イ |
| 5 | オ | ウ | エ |

6 次は、「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成25年10月11日 文部科学大臣決定）からの出題である。各問いに答えよ。

問1 次の文は、この方針の中のいじめの防止等に関する基本的考え方の一部である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの語句を入れてこの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

いじめは、どの子供にも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、より根本的ないじめの問題克服のためには、全ての児童生徒を対象としたいじめの の観点が必要であり、全ての児童生徒を、いじめに向かわせることなく、心の通う対人関係を構築できる社会性のある大人へと育み、いじめを生まない土壌をつくるために、 が一体となった継続的な取組が必要である。

このため、学校の教育活動全体を通じ、全ての児童生徒に「いじめは決して許されない」ことの理解を促し、児童生徒の豊かな情操や道徳心、自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を し合える態度など、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養うことが必要である。

ア 実態調査	イ 未然防止	ウ 尊重
エ 教職員	オ 重視	カ 関係者

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | ウ |
| 2 | イ | カ | ウ |
| 3 | イ | エ | オ |
| 4 | ア | カ | オ |
| 5 | イ | エ | ウ |

問2 次の各文のうち、この方針に書かれている内容として、誤っているもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A いじめの早期発見は、いじめへの迅速な対処の前提であり、全ての大人が連携し、児童生徒のささいな変化に気付く力を高める必要がある。このため、いじめは大人の目に付きにくい時間や場所で行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりするなど、大人が気付きにくく判断しにくい形で行われることを認識し、ささいな兆候であっても、いじめではないかとの疑いを持って、早い段階からの確に関わりを持ち、いじめを隠したり軽視したりすることなく積極的にいじめを認知することが必要である。
- B いじめの問題への対応においては、学校や教育委員会においていじめる児童生徒に対して必要な教育上の指導を行うのではなく、警察や児童相談所等の関係機関にゆだねることが重要であることから、平素より、学校や学校の設置者と関係機関の担当者の窓口交換や連絡会議の開催などを最優先して連携強化を図ることが必要である。
- C いじめの早期発見のため、学校や学校の設置者は、定期的なアンケート調査や教育相談の実施、電話相談窓口の周知等により、児童生徒がいじめを訴えやすい体制を整えるとともに、地域、家庭と連携して児童生徒を見守ることが必要である。
- D いじめがあることが確認された場合、学校は直ちに、いじめを受けた児童生徒やいじめを知らせてきた児童生徒の安全を確保し、いじめたとされる児童生徒に対して事情を確認した上で適切に指導する等、組織的な対応を行うことが必要である。

- 1 B
2 C
3 A C
4 A D
5 B D

7 次は、生徒指導提要（平成22年3月 文部科学省）の中の教育相談の進め方からの出題である。各問いに答えよ。

問1 次の各文のうち、生徒指導提要の教育相談の進め方に関する記述の内容として誤っているもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 教育相談はすべての児童生徒を対象にします。いじめ、不登校、非行などの問題を抱える児童生徒、また、学習や対人関係、家庭の問題等で不適応感を持ち始めてきているが、まだ非行や欠席などの具体的な行動には表れていない児童生徒、さらには、表面上は特段の問題なく元気に学校生活を送っている多数の児童生徒を対象として、学校生活への適応とよりよい人格の向上を目指して行われます。
- B 教育相談は、あらゆる教育活動を通して行われるものですが、定期面談や呼出し面談等は教育相談の大事な場面です。
ただし、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の授業では、児童生徒の顔色や姿勢、学習態度から児童生徒理解を深めることが困難なため、休み時間や清掃時、給食時の場面が児童生徒理解を深める機会として活用できます。
- C 児童生徒は、自分の気持ちを言葉でうまく表現できないことから、心の問題が顔の表情や行動に現れたり、頭痛・腹痛などの身体症状となって現れたりすることが多いことから、心身の健康問題の背景に心の健康問題があることが多いです。
- D 教育相談は、教育相談担当教員や養護教諭、学級担任・ホームルーム担任、スクールカウンセラーなど限られたものだけが行うものではありません。すべての児童生徒を対象に、あらゆる教育活動を通して行うものである以上、すべての教員が、適時、適切に行うことが必要です。そのためにすべての教員が教育相談の基本について理解し、実践できるように、様々な機会に教育相談の原理や方法などについて研修を受けることが望まれます。

- 1 A
2 B
3 A D
4 B C
5 C D

問2 次の各文のうち、生徒指導提要に記されている「教育相談でも活用できる新たな手法等」の中のアサーショントレーニングについて説明しているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 自分の中に生じた怒りの対処法を段階的にトレーニングします。「きれる」行動に対して「きれる前の身体感覚に焦点を当てる」「身体感覚を外在化しコントロールの対象とする」「感情のコントロールについて会話する」などの段階を踏んで怒りなどの否定的感情をコントロール可能な形に変えます。
- 2 グループ体験を通して他者に出会い、自分に出会います。人間関係作りや相互理解、協力して問題解決する力などがトレーニングされます。集団の持つプラスの力を最大限に引き出す方法といえます。
- 3 対人場面で自分の伝えたいことをしっかり伝えるためのトレーニングです。「断る」「要求する」といった葛藤場面での自己表現や、「ほめる」「感謝する」「うれしい気持ちを表す」「援助を申し出る」といった他者とのかかわりをより円滑にする社会的行動の獲得を目指します。
- 4 様々な社会的技能をトレーニングにより、育てる方法です。「相手を理解する」「自分の思いや考えを適切に伝える」「人間関係を円滑にする」「問題を解決する」「集団行動に参加する」などがトレーニングの目標となります。
- 5 様々なストレスに対する対処法をトレーニングします。始めにストレスについての知識を学び、その後「リラクゼーション」「コーピング（対処法）」を学習します。

- 8 次の各文のうち、生徒指導提要（平成22年3月 文部科学省）の中の不登校に対する基本的な考え方に関する記述の内容として誤っているもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。
解答番号は

- A 不登校の解決に当たっては、「心の問題」としてのみとらえるのではなく、広く「進路の問題」としてとらえることが大切です。ここでいう「進路の問題」というのは、狭義の進路選択という意味ではなく、不登校の児童生徒が一人一人の個性を生かし社会へと参加しつつ充実した人生を過ごしていくための道筋を築いていく活動への援助をいいます。
- B 不登校については原因も状態像も複雑化・多様化していることもあり、連携すべき専門機関は多岐にわたります。教育センターや教育支援センター、児童相談所などの公的機関だけでなく、民間施設やNPO等とも積極的に連携し、相互に協力・補完しつつ対応に当たることが重要です。
- C 「不登校の児童生徒にとって居心地のいい学校」は「すべての児童生徒にとっても居心地のいい学校」になるという視点から、すべての児童生徒が楽しく通えるような学校教育が目指されるべきだと考えられます。とりわけ、入学・進学など、成長の節目においては学校や学年の移行が円滑に進むよう細やかな配慮が求められます。
- D 学校に行くことに大きな葛藤を抱え、登校時間になると頭痛や腹痛などの身体症状を出す神経症的な不登校に対しては、児童生徒からの自発的な相談があるまで、その原因は探らず「待つこと」に専念しなければなりません。そして、本人から相談があったときに初めて、本人の思いを傾聴し、見極め（アセスメント）を行った上で、適切な働きかけやかかわりを持つことが必要です。
- E 不登校の児童生徒と直接向き合っている保護者の不安や悩みはたいへん大きく、時にそれが児童生徒の心身の状態に影響を及ぼすこともあります。こうした保護者を支援し、児童生徒のみならず家庭に対し適切な働きかけや支援を行うことが、不登校児童生徒本人にも間接的な効果を及ぼすものと期待されます。

- 1 A D E
2 A E
3 B C
4 D
5 E

9 次の各文は、教育公務員特例法の条文または条文の一部である。各問いに答えよ。

第一条 この法律は、教育を通じて国民全体に奉仕する教育公務員の職務とその責任の に基づき、教育公務員の 、給与、分限、懲戒、服務及び研修等について規定する。

第二十一条 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず に努めなければならない。

第二十二条 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

2 教員は、 に支障のない限り、 の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

問1 空欄Aに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 重要性
- 2 特殊性
- 3 普遍性
- 4 崇高性
- 5 専門性

問2 空欄Bに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 福利
- 2 権限
- 3 身分
- 4 任免
- 5 採用

問3 空欄Cに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 授業の改善
- 2 心身の練磨
- 3 自己管理
- 4 健康の維持
- 5 研究と修養

問4 空欄D、Eに当てはまる語句を入れてこの条文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | D | E |
|---|----|------|
| 1 | 授業 | 本属長 |
| 2 | 職務 | 任命権者 |
| 3 | 職務 | 本属長 |
| 4 | 授業 | 任命権者 |
| 5 | 職務 | 教育長 |

- 10 次は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）の中の、学校における人権教育の取組の視点に関する記述の一部である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの語句を入れてこの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

他の人とともによりよく生きようとする態度や集団生活における規範等を尊重し義務や責任を果たす態度、具体的な人権問題に直面してそれを解決しようとする実践的な行動力などを、児童生徒が身に付けられるようにすることが大切である。具体的には、各学校において、教育活動全体を通じて、例えば次のような力や技能などを総合的にバランスよく培うことが求められる。

- ① 他の人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどがわかるような想像力、 に理解する力
- ② 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、 ためのコミュニケーションの能力やそのための技能
- ③ 自分の要求を一方的に主張するのではなく建設的な手法により他の人との人間関係を する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる能力やそのための技能

ア 共感的	イ つながり合い、成長し合う	ウ 調整
エ 体系的	オ 伝え合い、わかり合う	カ 改善

	A	B	C
1	ア	イ	カ
2	エ	イ	カ
3	ア	イ	ウ
4	ア	オ	ウ
5	エ	オ	ウ

11 次は、児童虐待に関連した出題である。各問いに答えよ。

問1 学校の教職員は、児童虐待の早期発見に努めなければならないとされている。次のうち、このことが規定されている法律として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 学校教育法
- 2 社会教育法
- 3 教育基本法
- 4 児童虐待の防止等に関する法律
- 5 教育公務員特例法

問2 次の各文のうち、「児童虐待の防止等のための学校、教育委員会等の的確な対応について」（平成22年3月24日 文部科学省）の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 児童虐待の早期発見の観点から、幼児児童生徒の心身の健康に関し健康相談を行うとともに、幼児児童生徒の健康状態の日常的な観察により、その心身の状況を適切に把握すること。
- B 児童虐待に係る通告について、児童虐待を受けたと思われる幼児児童生徒を発見した場合は、虐待の事実を確認の上、速やかに、これを市町村、児童相談所等に通告しなければならない。
- C 児童虐待に係る通告を行った幼児児童生徒について、通告後に市町村又は児童相談所に対し、定期的な情報提供を行っている場合は、学校等において、新たに把握した児童虐待の兆候や状況の変化等を、定められた期日に、適切に情報提供を行うこと。
- D 健康診断においては、身体測定、内科検診や歯科検診を始めとする各種の検診や検査が行われることから、それらを通して身体的虐待及び保護者としての監護を著しく怠ること（いわゆるネグレクト）を早期に発見しやすい機会であることに留意すること。

	A	B	C	D
1	×	×	○	○
2	×	○	×	×
3	○	×	×	○
4	○	×	○	×
5	○	○	×	○

12 次の各文は、子どもの読書活動の推進に関する法律の条文である。空欄A～Dに、下のア～クのいずれかの語句を入れてこれらの条文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、を学び、感性を磨き、表現力を高め、を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所においてに読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動のに積極的な役割を果たすものとする。

ア 文化	イ 人間性	ウ 自主的	エ 習慣化
オ 言葉	カ 創造力	キ 自由	ク 健全化

	A	B	C	D
1	ア	イ	ウ	エ
2	オ	イ	キ	エ
3	ア	カ	ウ	ク
4	オ	カ	ウ	エ
5	ア	カ	キ	ク

13 次の文は、障害者の権利に関する条約第二十四条の条文の一部（外務省訳）である。空欄A、Bに当てはまる語句はどれか。1～5からそれぞれ選べ。解答番号は空欄A 、空欄B

1 締約国は、教育についての障害者の権利を認める。締約国は、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、障害者を するあらゆる段階の教育制度及び生涯学習を確保する。当該教育制度及び生涯学習は、次のことを目的とする。

(a) 人間の潜在能力並びに尊厳及び自己の価値についての意識を十分に発達させ、並びに人権、基本的自由及び人間の多様性の尊重を強化すること。

(b) 障害者が、その人格、才能及び創造力並びに精神的及び身体的な能力をその可能な最大限度まで発達させること。

(c) 障害者が自由な社会に効果的に参加することを可能とすること。

2 締約国は、1の権利の実現に当たり、次のことを確保する。

(a) 障害者が障害に基づいて一般的な教育制度から排除されないこと及び障害のある児童が障害に基づいて無償のかつ義務的な初等教育から又は中等教育から排除されないこと。

(b) 障害者が、他の者との平等を基礎として、自己の生活する地域社会において、障害者を し、質が高く、かつ、無償の初等教育を享受することができること及び中等教育を享受することができること。

(c) 個人に必要とされる が提供されること。

(d) 障害者が、その効果的な教育を容易にするために必要な支援を一般的な教育制度の下で受けること。

(e) 学問的及び社会的な発達を最大にする環境において、完全な という目標に合致する効果的で個別化された支援措置がとられること。

1 包容	2 尊重	3 理解	4 合理的配慮	5 自己決定機会
------	------	------	---------	----------

14 次の各文のうち、「教育支援資料 ～障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実～」(平成25年10月 文部科学省)の中の序論の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 28

- A 障害のある子供にとって、その障害を早期に発見し、早期から必要な支援を行うことは、障害の実態が充分把握できておらず支援の具体的方策が決まらないままでの支援になるため、その後の自立や社会参加にマイナスの要因をもたらすことになりかねず、障害のある子供を支える家族に対する支援という観点からも、慎むことが重要である。
- B 障害のある子供が、地域社会の一員として、生涯にわたって様々な人々と交流し、主体的に社会参加しながら心豊かに生きていくことができるようにするためには、教育、医療、福祉、保健、労働等の各分野が一体となって、社会全体として、その子供の自立を生涯にわたって支援していく体制を整備することが必要である。
- C 就学時に決定した「学びの場」は、それぞれの子供の発達程度、適応の状況等を勘案して決まったものなので、小中学校から特別支援学校への転学又は特別支援学校から小中学校への転学は、これまで行ってきた支援が途切れることになり、子供にとって不利益をもたらすものであることをすべての関係者が共通理解することが重要である。
- D 障害のある子供が、将来の進路を主体的に選択できるよう、子供の実態や進路希望等を的確に把握し、早い段階からの進路指導の充実を図ることが大切である。また、企業等への就職は、職業的な自立を図る上で有効であることから、労働関係機関等との連携を密にした、就労支援を進めることが必要である。
- E 一貫した教育を効果的に進めるためには、支援の主体が替わる移行期の支援に特に留意する必要がある。医療機関等で障害が発見されてから教育、福祉、保健、労働等の支援機関に引き継がれる時期、認定こども園・幼稚園・保育所、児童発達支援センター等の障害児通所支援施設等から小学校や特別支援学校小学部に引き継がれる時期、小学校・特別支援学校小学部から中学校・特別支援学校中学部に引き継がれる時期、中学校・特別支援学校中学部から高等学校・特別支援学校高等部に引き継がれる時期、そして高等学校・特別支援学校高等部から就労・大学・就労移行支援機関・生活介護事業所等へ引き継がれる時期、これらの「移行期」において、従前の支援内容を新たな支援機関に着実に引き継ぐことが重要である。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	○
2	○	×	○	×	×
3	×	○	○	○	×
4	○	×	×	×	○
5	×	○	×	○	×

15 次の各文は、学校教育法の条文または条文の一部である。各問いに答えよ。

第十九条 によつて、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。

第三十四条 小学校においては、 の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。

問1 空欄Aに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 心身の機能の障害
- 2 国外での居住
- 3 社会的障壁
- 4 経済的理由
- 5 家庭の事情

問2 空欄Bに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 内閣総理大臣
- 2 文部科学大臣
- 3 教科用図書検定調査審議会
- 4 都道府県知事
- 5 市町村教育委員会

16 次の各文のうち、「学校安全の推進に関する計画」（平成24年4月27日 閣議決定）の中の、学校安全を推進するための方策に関する記述の内容として誤っているもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 障害のある児童生徒等については、一人一人の障害の種類や状態、教育的ニーズ、学校や地域の状況を把握することが重要であり、それらを踏まえて、安全に関する指導を実施する必要がある。その際、小・中学校等に通学する障害のある児童生徒等への指導に関しても配慮することが必要である。
- B 児童生徒等に対する自転車の安全教育について、特に、中学生・高校生が加害者となる自転車事故が課題となってきており、今後は、例えば自らの自転車の乗り方が安全なのかを理解できるような、自己理解、自己評価型の教育を進める必要がある。
- C 従前より、子どもたちは異年齢間での遊びを通して、危険を予測したり、危険を回避したりする知識や態度が伝えられてきたと言われるが、年齢が異なれば、身に付けるべき危険予測や危険回避の知識や態度も違うため、学校では、同年齢だけでの遊びの中で、伝え合ったり、支え合ったりする体験ができる環境づくりが重要である。
- D 野外炊飯など、防災教育にも資する自然体験活動の推進方策を学校安全の観点からも検討することが望ましい。その際、火おこしなどの技術的な内容だけでなく、体験を通して得られる危険予測・危険回避能力などを培うための内容も盛り込むべきである。
- E 学校における避難訓練は、基礎的な訓練を確実に行うことが重要であるが、更に、例えば、管理職以外の教職員や児童生徒等に予告なく行う、地域や保護者の参加を得て行う、警察・消防・救急への通報訓練を行うなど、より実践的な内容にするための工夫も必要である。

- 1 B
- 2 B D
- 3 C
- 4 A E
- 5 C D

17 次の各文のうち、「教育の情報化ビジョン ～21世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して～」(平成23年4月28日 文部科学省)の中の教育の情報化が果たす役割に関する記述の内容として誤っているもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 情報通信技術を活用し、その特長を生かすことによって、一斉指導による学び(一斉学習)に加え、子どもたち一人一人の能力や特性に応じた学び(個別学習)、子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び(協働学習)を推進していくことができる。
- B 特別な支援を必要とする子どもたちにとって、情報通信技術は、障害の状態や特性等に応じて活用することにより、各教科や自立活動等の指導において、その効果を高めることができる点で極めて有用である。
- C 実体験や対面でのコミュニケーションの充実等を図っていくことは、学校現場において一層重要性を増してくるものと考えられる。情報通信技術の可能性とともに限界にも留意しつつ、教育の情報化を推進することが重要である。
- D 情報化の影の部分の対応として、情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度を養う子どもたちへの情報モラル教育については、子どもたちによっておかれている環境が違うこともあり、情報通信技術に詳しくない子どもに有害な情報を教えることにもなりかねない。したがって、学校では情報モラル教育を行わず、各家庭が子どもたちに指導を行うよう保護者への啓発に取り組む必要がある。
- E 情報通信技術を活用することが極めて一般的な社会にあって、学校教育の場において、社会で最低限必要な情報活用能力を確実に身に付けさせて社会に送り出すことは、学校教育の責務である。

- 1 C
- 2 D
- 3 A D
- 4 C D E
- 5 A B E

- 18 次の各文は、子どもの貧困対策の推進に関する法律の条文または条文の一部である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの語句を入れてこれらの条文または条文の一部を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第一条 この法律は、子どもの将来がその によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、 を図るため、子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とする。

第二条 子どもの貧困対策は、子ども等に対する教育の支援、生活の支援、 、経済的支援等の施策を、子どもの将来がその によって左右されることのない社会を実現することを旨として講ずることにより、推進されなければならない。

ア 生まれ育った環境	イ 就労の支援	ウ 教育格差の是正
エ 就学の支援	オ 教育の機会均等	カ 生まれた時代の経済状況

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | オ | イ |
| 2 | ア | オ | エ |
| 3 | ア | ウ | イ |
| 4 | カ | ウ | エ |
| 5 | カ | ウ | イ |

- 19 次は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」（平成24年8月28日中央教育審議会）の中のこれからの教員に求められる資質能力に関する記述の一部である。空欄A、Bに当てはまる語句はどれか。1～5からそれぞれ選べ。解答番号は空欄A 、空欄B

これからの教員に求められる資質能力は以下のように整理される。これらは、それぞれ独立して存在するのではなく、省察する中で相互に関連し合いながら形成されることに留意する必要がある。

(i) 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に （使命感や責任感、教育的愛情）

(ii) 専門職としての高度な知識・技能

- ・ 教科や教職に関する高度な専門的知識（グローバル化、情報化、特別支援教育その他の新たな課題に対応できる知識・技能を含む）
- ・ 新たな学びを展開できる実践的指導力（基礎的・基本的な知識・技能の習得に加えて思考力・判断力・表現力等を育成するため、知識・技能を活用する学習活動や課題探究型の学習、協働的学びなどをデザインできる指導力）
- ・ 教科指導、生徒指導、学級経営等を的確に実践できる力

(iii) 総合的な人間力（豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力、 、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力）

- | | | | | | |
|---|--------------|---|--------------|---|---------|
| 1 | キャリアをデザインする力 | 2 | 同僚とチームで対応する力 | 3 | 自己管理する力 |
| 4 | マネジメントする力 | 5 | 学び続ける力 | | |

20 次の各文は、学校保健安全法の条文である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの語句を入れてこれらの条文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第五条 学校においては、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員
の健康診断、 検査、児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し、
これを実施しなければならない。

第二十七条 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の 、
児童生徒等に対する を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研
修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

ア	環境衛生	イ	安全点検	ウ	課外活動
エ	学校安全	オ	通学	カ	管理

	A	B	C
1	ア	イ	オ
2	ア	カ	ウ
3	エ	イ	ウ
4	エ	カ	オ
5	ア	カ	オ

21 次の語句のうち「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成22年3月24日 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会）の中で「算数・数学において式やグラフに表すことや理科において観察・実験の過程や結果を的確に記録し整理すること」を評価する観点として記されているものはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 知識・理解
- 2 活用
- 3 関心・意欲・態度
- 4 思考・判断・表現
- 5 技能

22 次は、「道徳に係る教育課程の改善等について（答申）」（平成26年10月21日 中央教育審議会）に関連した出題である。各問いに答えよ。

問1 次の文は、この答申の中の道徳教育の使命に関する記述の一部である。空欄A、Bに当てはまる語句はどれか。1～5からそれぞれ選べ。解答番号は空欄A 、空欄B

道徳教育においては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を前提に、人が互いに尊重し協働して社会を形作っていく上で共通に求められるルールやマナーを学び、などを育むとともに、人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生きるべきかなどについて、時には悩み、葛藤しつつ、考えを深め、自らの生き方を育んでいくことが求められる。

さらに、今後グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることが一層重要な課題となる。こうした課題に対応していくためには、社会を構成する主体である一人一人が、高いをもち、人としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えることがこれまで以上に重要であり、こうした資質・能力の育成に向け、道徳教育は、大きな役割を果たす必要がある。

- | | | | | |
|-------|--------|------|------|-------|
| 1 正義感 | 2 規範意識 | 3 理想 | 4 人格 | 5 倫理観 |
|-------|--------|------|------|-------|

問2 この答申を踏まえ、平成27年3月27日に中学校学習指導要領の「第3章 道徳」が「第3章 特別の教科 道徳」に改正された（文部科学省告示第六十一号）。次の各文のうち、この改正後の中学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の中の指導計画の作成と内容の取扱いの内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現するなどを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動を充実すること。
- B 発達の段階を考慮し、人間としての弱さを認めながら、それを乗り越えてよりよく生きようとすることのよさについて、教師が生徒と共に考える姿勢を大切にすること。
- C 生徒の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫すること。
- D 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。評価については年度末に数値による五段階で評価することとし、その際目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）を用いるようにすること。

	A	B	C	D
1	×	○	○	×
2	○	×	○	○
3	×	○	×	○
4	○	○	○	×
5	○	×	○	×

23 次の各文のうち、〔 〕内に示されている法律の条文または条文の一部として誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 学校には、学校図書館を設けなければならない。〔学校図書館法〕

2 学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない。〔学校図書館法〕

3 学校図書館は、一般公衆に利用させることができない。〔学校図書館法〕

4 この法律は、学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もつて学校教育を充実することを目的とする。〔学校図書館法〕

5 子ども読書の日は、四月二十三日とする。〔子どもの読書活動の推進に関する法律〕

24 次の各文は、人間の発達や欲求、動物の行動に関する理論の提唱や研究を行った学者についての記述である。各問いに答えよ。

- ・ は、アメリカの心理学者であり、青年期の心理社会的な発達課題はアイデンティティ（自我同一性）の獲得にあると説いた。また、アイデンティティを模索する青年期を心理社会的モラトリアムと呼んだ。
- ・ は、アメリカの心理学者であり、人間の欲求を五段階に区分し、低次の欲求が充足されると高次の欲求の実現へ向かうとする欲求階層説を提唱した。
- ・ は、オーストリアの動物学者であり、ハイイロガンが孵化後、最初に見た動いたものを親と認識することを明らかにした研究で有名である。

問1 空欄A～Cに、下のあ～えのいずれかの人名を入れて、これらの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

あ	ボウルビイ (Bowlby, John Mostyn)	い	ローレンツ (Lorenz, Konrad Zacharias)
う	エリクソン (Erikson, Erik Homburger)	え	マズロー (Maslow, Abraham Harold)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | う | え | い |
| 2 | い | あ | う |
| 3 | え | い | う |
| 4 | う | あ | い |
| 5 | い | え | あ |

問2 下線部を示す言葉はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 モロー反射
- 2 オペラント条件づけ
- 3 ピグマリオン効果
- 4 刷り込み
- 5 適応機制

25 次の各文は、子ども・子育て支援法の条文の一部である。各問いに答えよ。

第二条 子ども・子育て支援は、父母その他の保護者が子育てについての を有するという基本的認識の下に、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行われなければならない。

第六条 この法律において「子ども」とは、 をいい、「小学校就学前子ども」とは、子どものうち小学校就学の始期に達するまでの者をいう。

問1 空欄Aに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 主体的権利
- 2 資質能力
- 3 監護義務
- 4 崇高な使命
- 5 第一義的責任

問2 空欄Bに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 十五歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある者
- 2 十八歳に達する日までの間にある者
- 3 十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある者
- 4 二十歳に達する日までの間にある者
- 5 二十歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある者

26 次の各文は、日本の教育や児童文化に関する人物に関する記述である。A～Eで述べられている人名を、それぞれ下のア～コから選ぶ場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 46

- A 心学の祖とされる人物で、『都鄙問答』を著した。18世紀前半に主に京都で、商人を中心に講義を始め、商業における利潤追求の正当性を説き、一方で正直や儉約等商人の具体的な道を示した。
- B 日本における陽明学の祖とされる人物で、郷里が近江であることから没後近江聖人ともよばれた。陽明学に傾倒する前は朱子学を修めており、著書の『翁問答』はその時に書かれたものであった。教育にも熱心で、熊沢蕃山をはじめ多くの門人を育てた。
- C 大坂（大阪）で医業を営むかたわら、蘭学塾である適塾（適々斎塾）を開き、福沢諭吉、大鳥圭介、大村益次郎、橋本左内ら多くの人材を育てた。
- D 大正時代に児童雑誌『赤い鳥』を創刊した童話作家であり、その中で児童自由詩、児童自由画などを掲載し、児童文化の興隆に大きく貢献した。
- E 昭和21（1946）年に知的障がい児の施設である近江学園を創設し、その後は重症心身障がい児の施設であるびわこ学園を創設した。知的障がい児福祉・教育の先駆者として、その実践と研究を行い「この子らを世の光に」という理念を残した。

ア 石田梅岩	イ 森田正馬	ウ 杉田玄白	エ 中江藤樹	オ 小川未明
カ 緒方洪庵	キ 鈴木三重吉	ク 貝原益軒	ケ 林羅山	コ 糸賀一雄

	A	B	C	D	E
1	ア	ケ	カ	キ	イ
2	ク	エ	カ	オ	イ
3	ア	エ	ウ	オ	コ
4	ク	ケ	ウ	キ	イ
5	ア	エ	カ	キ	コ

27 飲酒運転は、道路交通法で禁止されている違法な行為であるとともに、重大な交通事故に直結するきわめて悪質・危険な犯罪である。また、自分の意思で防ぐことのできる行為であり、とりわけ児童生徒に遵法精神を説くべき教育公務員の飲酒運転は、公務員全体の信用を失墜させるばかりでなく、児童生徒を裏切ることにもなり、絶対に許されず、決して行ってはならない。

次の各文のうち、A～Dの各教諭の行為について、不適切なもののみをすべて挙げているものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

ア A教諭は、勤務時間終了後、飲食店で同僚と夕食をした際に、ビールを中ジョッキで4杯飲んだ。翌日が休日だったこともあり、A教諭は、さらに深夜2時過ぎまで、別の店でビール大びん3本と日本酒4合を飲み、その後、タクシーで帰宅し、就寝した。A教諭は2時間半ほど睡眠をとり、午前5時に起床した際、体調も良く、体内にアルコールは残っていないだろうと判断し、午前6時に同僚と旅行に行くため、自分で自動車を運転し同僚宅へ向かった。

イ B教諭は、休日午後6時から行われた懇親会に出席し、ビール大びん2本と日本酒2合を飲んだ。懇親会が終わり、帰宅しようとしたところ、その日の参加者の中で一人だけ酒類を飲んでいなかった知人のEさんに「私は、自動車ですべて来ていますので、乗りませんか。家まで送りますよ。」と言われたので、Eさんが運転する自動車に乗り、家まで送ってもらった。

ウ C教諭は、日曜日午前9時から行われる地域の清掃活動に参加した。その後、正午から行われる地域の懇親会に参加するため、懇親会会場に自転車で向かった。その際、ビール大びんを4本飲んだ。懇親会は午後2時に終了し、自宅まで自転車に乗って帰った。

エ 休日のある日、D教諭は、友人のFさんを自宅に招いた。Fさんは、その日はD教諭宅に電車で訪れた。D教諭とFさんは、午後8時から、二人でそれぞれビール大びんを2本と日本酒を2合ずつ飲んでいった。午前0時を少し過ぎた頃、Fさんの家族が急病との連絡が入った。しかし、電車は既に運行しておらず、Fさんはタクシーを呼んだが、到着までに時間がかかるとのことだったので、D教諭は所有している自分の自動車をFさんに貸し、気を付けて帰るよう言って見送った。

- 1 ア イ ウ
- 2 ア ウ エ
- 3 イ エ
- 4 ア ウ
- 5 ア イ ウ エ

28 教員が児童生徒に体罰を加えることは、法律で禁止されている。また、児童生徒に暴力行為やいじめを容認する気持ちを醸成させる恐れがあるなど、児童生徒の心身に悪影響を与えるだけで、教育的効果は一切期待できない。

次の各文のうち、A～Dの各教諭の行為について、体罰と判断されるもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア A教諭は、授業中にふざけていた児童Eさんに対して、口頭で何度も注意をし、指導をしていたが、Eさんが指導に従わなかったため、腹を立てて、自分が持っていたボールペンをEさんに向かって投げつけた。ボールペンはEさんの体に当たったが、怪我はなかった。

イ 生徒Fさんは、昼休み後の清掃時間中に自分の担当場所を離れて清掃をせず遊んでいた。Fさんの担任をするB教諭は、6時間目の授業終了後、清掃をしなかったことについてFさんを指導し、反省を促すため、Fさんに自分の清掃場所を改めて掃除させた。その後Fさんは午後4時に下校した。

ウ 授業中に校内巡回をしていたC教諭は、生徒Gさんが、校舎内の廊下で大声を出し、各教室のドアを蹴って授業を妨害しているのを見た。C教諭は、Gさんを冷静にさせて指導をするため、Gさんに別室へ行くよう促した。しかし、Gさんは、暴言を吐いてC教諭の足を強く蹴り、さらにC教諭を殴ろうとしたので、C教諭はGさんの腕をつかんで制止した。

エ D教諭は、放課後、校庭にある倉庫の裏で、生徒Hさんが喫煙しているのを見つけた。D教諭は、Hさんに喫煙をやめ、D教諭にタバコを渡すよう指導したが、Hさんが「おまえの言うことは聞かない。」と反抗的な発言をしたため、Hさんの胸ぐらをつかみ、Hさんの体を倉庫の壁に何度も強くぶつけて、強い口調で指導した。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | エ |
| 2 | イ | ウ | エ |
| 3 | ア | エ | |
| 4 | ウ | エ | |
| 5 | ア | イ | エ |

29 学校におけるハラスメントは、「性的な言動」を行うセクシャル・ハラスメントをはじめとして、指導する側と指導される側等の力関係のもとに行われるため、児童生徒が教員からの言動等を拒否することが困難で、被害も顕在化しにくい傾向にある。また、ハラスメントは一度発生すれば、学校教育への不信感を大きく広げるだけでなく、何よりも、児童生徒の心身を深く傷つけ、個人の尊厳や人権を著しく侵害する絶対に許されない行為である。

次の各文のうち、A～Dの各教諭の行為について、上記の観点から考えた場合、不適切と判断されるもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア A教諭は、吹奏楽部の顧問をしており、自分の知人が主催するピアノコンサートに部員と共に招待された。そのコンサートは、日曜日に開催され、入場無料であったため、A教諭は部員全員に鑑賞に行くように伝えた。しかし、部員である生徒Eさんは、その日は親戚の結婚式に出席するのでコンサートには行けない旨、A教諭に伝えた。A教諭は、再度、Eさんにコンサートに行くことはできないかとたずねたが、Eさんの答えは行けないとのことであった。その話を聞いたA教諭は、その日からEさんを楽器のパート練習からはずし、全体練習にも参加させなかった。

イ B教諭は、男子の水泳授業を担当しており、生徒が水着姿のままプールサイドで静かに整列していたところ、特定の生徒の上半身を教育的な目的もなくじっと見つめたり、触れたりしていた。B教諭に凝視されたり触れられたりした生徒は、嫌な思いをせずと下を向いていた。まわりの生徒の中にも、そうしたB教諭の行為を不快に感じるものがあり、一部の生徒は、B教諭に不快であることを伝えたが、一向にB教諭の行為は改まらなかった。

ウ C教諭は、担任をしているクラスの生徒にメールアドレスを教え、勤務時間内はもちろんのこと休日や勤務時間外でも悩みごとの相談に乗っていた。ある日、生徒のFさんは、進路のことで悩んでいると自分からC教諭にメールで連絡した。メールを受けたC教諭は、数回、Fさんを夜遅くに学校近くの公園に呼び出し相談に乗った。Fさんは悩みが解決したが、C教諭は、その後もFさんに近況を聞くメールを送り、何度も休日に自宅に呼んでいた。Fさんは、次第にC教諭からのメールや自宅に呼ばれることを疎ましく感じるようになったが、担任に悪い印象を持たれたくないと思い、仕方なく返信し、C教諭の自宅にも行くようにしていた。

エ D教諭は、放課後、学習が遅れがちな生徒や希望する生徒に対して補習を行っている。この中で、D教諭は生徒のGさんにだけ、膝に手を置くなど身体に触れて指導を行っていた。Gさんは、D教諭に身体に触れることをやめてほしいと訴え、まわりの生徒もGさんが嫌がっていることをD教諭に伝えたが、D教諭は、その後の指導においてもGさんにだけ身体に触れて指導を行っていた。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | ウ | エ | |
| 2 | ア | イ | ウ | |
| 3 | ア | イ | エ | |
| 4 | ア | ウ | エ | |
| 5 | ア | イ | ウ | エ |

30 地方公務員法第三十八条では、一般職に属する地方公務員の営利企業等の従事制限が規定されている。

次の各文のうち、A～Dの各教諭の行為について、営利企業等の従事制限に抵触するもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、ア～エのいずれの事例も任命権者又は市町村教育委員会の許可は受けていないものとする。解答番号は

ア A教諭は、大学時代に友人とともにパソコン教室の事業を立ち上げ、その経営に参画していた。大学卒業とともにパソコン教室事業の経営から身を引いたが、一緒に教室を立ち上げた友人から、パソコン教室事業を株式会社にするので、役員になってもらえないかと熱心に依頼された。そのため、A教諭は、無報酬であることを条件に役員を引き受けた。

イ B教諭は、1000平方メートルの土地を相続し、普通乗用車100台が駐車できる立体駐車場をつくり、貸し出した。その駐車場は100台分とも賃貸契約が締結され、B教諭は毎月100万円の収入を得るようになり、その中から立体駐車場の維持にかかる経費を支払っていた。

ウ C教諭は、長らく中学校でソフトボール部の指導をしていた。3年前に、自分が住んでいる地域の子どもの会の役員から、子ども会で、ソフトボールチームを立ち上げるので、技術指導者として力を貸してほしいと依頼された。C教諭は、そのソフトボールチームの活動時間は勤務時間外で学校業務に何ら支障がないので引き受けることにした。なお、そのソフトボールチームの指導を始めてから現在までC教諭には、報酬は支払われていない。

エ D教諭は、コンビニエンスストアを経営する知人から夜間の店のスタッフが足りないので、手伝ってもらえないかと依頼を受けた。知人がかなり困っている様子だったので、D教諭は、勤務時間外と休日に手伝うことにし、毎週金曜日と土曜日のいずれも午後9時から深夜0時までの3時間、その店で接客や品出しの仕事をした。経営者である知人は、D教諭に対する感謝の気持ちからD教諭にアルバイトと同額の時給で給料を支払い、D教諭はそれを受け取っていた。

- 1 イ
- 2 ア ウ
- 3 ア イ エ
- 4 イ ウ エ
- 5 ア イ ウ エ

